

# 総合地球環境学研究所 IS

分断された海と森をつなぎ直し流域圏の豊かな自然・社会文化を取り戻す  
－共有できる経験・価値を軸にした協働方法－

2022年度気仙沼ワークショップ

東京都立大学

横山勝英

## 1. 研究概要

海と陸を隔てる大規模堤防の建造は、自然環境の分断だけではなく、住民の賛成・反対への分断や、目を背ける意図的無関心層の増加をもたらし、コミュニティ文化が破壊されることが多い。

そこで、つながりの再構築を目指して、三陸リアス海岸（宮城県気仙沼市）と有明海（柳川市・諫早市）で研究を行う。気仙沼では森は海の恋人運動によって「つながり意識」の変容に成功しており、また、東日本大震災後に津波防潮堤を建設せずに湿地・干潟を再生した地域がある。一方、諫早湾では潮受け堤防や陸と海の間としての干潟の保全再生を巡って裁判が20年間続き、地域社会が分断されている。

そこで、森は海の恋人活動を人文社会学的に評価し、また、防潮堤の有無による生態系構造の違いを自然科学研究により評価し、両者から分断修復の方法論を見いだす。そして、ウナギが遡れる森川里海づくりとして、有明海柳川市において市民・学生・行政・研究者の協働による小規模な社会実験を行い、さらに諫早湾流域圏に適用して検証する。

## 2. ワークショップ開催場所

舞根森里海研究所（NPO 法人森は海の恋人） 宮城県気仙沼市

## 3. スケジュール 9月18日(日)-19日(月)

舞根地区の復興状況，震災湿地の活用状況など視察

研究所にてミーティング

- ・趣旨説明，ミッション，スケジュール
- ・自己紹介（これまでの取り組み内容，各自15分程度）
- ・今後の進め方，メンバー補強などについてディスカッション

震災湿地へ移動，湿地への海水遡上の様子を見学

リアス式海岸の復興状況を視察

只越川→明戸海岸→沖ノ田川→大谷海岸



